

こんにちは  
**日本共産党**  
**大分市議団**  
 です

2014年4月5日

870-8504  
 大分市荷揚町2-31  
 市議会日本共産党控室  
 TEL 537-5695  
 FAX 537-5791  
 http://www.jcp-  
 oitasigidan.com  
 E-mail: occ-jcp  
 @oct-net.ne.jp

# 消費税だまっていたら10%… 新年度予算 市民に負担、大企業に優遇



**消費税増税 安定財源？ 社会保障？**  
 個人消費の伸びは0・5%、輸出や設備投資も低い伸び。昨年の1カ月平均の給与は3年連続の減少。増税されれば、家計の消費を「減らそうと思う」が大半。71%が景気回復の「実感がない」、50・4%が消費税増

税分を「転嫁できない」。低所得者ほど負担が重い消費税は、最悪の暮らし破壊税です。消費税増税はきっぱり中止し、国民の所得を増やし経済を立て直す政策に、抜本転換すべきです。市長は「高い財源調達力、経済や人口構成に左右されにくく、安定している」「社会保障の安定財源を確保し、財源の健全化を図るもので、取りやめを国に要望する考えはない」と、国と同じ立場を表明しました。市民生活をかえりみない姿勢は許せません。

予算

## 市民に負担増で 大企業優遇など

新年度一般会計予算は、消費税増税による地方消費税交付金が37%増、家庭ごみの有料化による使用料及び手数料が12・4%増など、市民に負担増。



企業立地促進助成金、住友化学1億8千万円、キヤノン1億円、大分ケミカル2億円、大企業関係で4億8千万円。設備投資は約297億

円ですが、新規雇用は34人だけです。また問題の多い小中一貫校の新設・碩田中学校区新設校施設整備事業に4億300万円。さらに人件費は2・5%の削減です。市民にあらたな負担を押しつけながら、大型事業や大企業を擁護の予算。市民の暮らしと福祉を守る予算をと求めました。市長は「事業の優先度や、費用対効果を勘案しながら、福祉、教育など市民生活に密着した分野に重点的に予算配分した」と強弁しました。

ひろつぐ  
**広次忠彦**  
**通信213**  
 TEL568-8833

- ◎ 1日、ビキニデー集会、久保山愛吉さん墓参行進。
- ◎ 2日、大分市校区対抗夢ボール大会。
- ◎ 5日、議会開会、本会議（26日まで）
- ◎ 6日、核兵器廃絶原水協69行動。
- ◎ 13日、重税反対全国統一行動大分地区集会。
- ◎ 16日、校区グラウンドゴルフ大会。
- ◎ 22日、家庭ごみ有料化学習会。
- ◎ 28日、夢ひこうせん相談日。
- ◎ 30日、歩こう会。

